

2025 年度 授業計画(シラバス)

学 科	理学療法士学科	科 目 区 分	専門分野	授業の方法	実習
科 目 名	評価実習	必修/選択の別	必修	授業時数(単位数)	160 (4) 時間(単位)
対 象 学 年	夜間部3年	学期及び曜時限	後期	教室名	各実習施設
担 当 教 員	安丸 直希				
実務経験と その関連資格	理学療法士として総合病院や介護老人保健施設にて6年勤務。主に内部障害領域における急性期から生活期までのリハビリテーション、がん終末期におけるリハビリテーションに従事。健康科学修士、呼吸認定理学療法士、循環認定理学療法士、3学会合同呼吸療法認定士、心電図検定3級を取得。また、がんリハビリテーション研修会修了。日本理学療法士協会会員、日本心臓リハビリテーション学会会員、日本呼吸ケア・リハビリテーション学会会員、日本呼吸理学療法学会一般会員、日本循環器理学療法学会一般会員、日本がん・リンパ浮腫理学療法学会一般会員、日本栄養・嚥下理学療法学会一般会員。				
《授業科目における学習内容》					
診療のチームの一員として加わり、臨床実習指導者の指導・監督の下で理学療法評価・治療を実施する。 評価実習後、学校で1症例についてレジメを作成し、実習報告会にてその成果を発表してもらう。					
《成績評価の方法と基準》					
実習指導者による行動目標の達成度評価表、実習生の出席状況、実習報告会の評価などによる総合評価とする。					
《使用教材(教科書)及び参考図書》					
《授業外における学習方法》					
《履修に当たっての留意点》					
臨床現場でしか学べない多くの知識・技術・態度を身につける。理学療法士として働く事を意識し、自分はどうのような職場で働き、どのような理学療法士になりたいかを考えて行動すること。学生として患者様に出来ることを出来る限りできるように、しっかりと事前準備をすること。					
授業の方法	内 容			使用教材	授業以外での準備学習の具体的な内容
第1回	授業を通じての到達目標				
	各コマにおける授業予定	各実習施設において160時間の臨床実習			
第2回	授業を通じての到達目標				
	各コマにおける授業予定	学内において、実習成果の発表、および成果の共有			
第3回	授業を通じての到達目標				
	各コマにおける授業予定				
第4回	授業を通じての到達目標				
	各コマにおける授業予定				
第5回	授業を通じての到達目標				
	各コマにおける授業予定				

授業の方法	内 容		使用教材	授業以外での準備学習の具体的な内容
第 6 回	授業を通じての到達目標			
	各コマにおける授業予定			
第 7 回	授業を通じての到達目標			
	各コマにおける授業予定			
第 8 回	授業を通じての到達目標			
	各コマにおける授業予定			
第 9 回	授業を通じての到達目標			
	各コマにおける授業予定			
第 1 0 回	授業を通じての到達目標			
	各コマにおける授業予定			
第 1 1 回	授業を通じての到達目標			
	各コマにおける授業予定			
第 1 2 回	授業を通じての到達目標			
	各コマにおける授業予定			
第 1 3 回	授業を通じての到達目標			
	各コマにおける授業予定			
第 1 4 回	授業を通じての到達目標			
	各コマにおける授業予定			
第 1 5 回	授業を通じての到達目標			
	各コマにおける授業予定			